

刊夕 日五十月四

# 常警 毎日新聞

定価 一冊五銭 月刊五拾五銭 郵費五銭  
 廣告料 五銭 十二字 一行 金五拾銭  
 日曜祭日の翌日休刊  
 発行所 常警毎日新聞社  
 東京市中央区本町三丁目三番地  
 電話 六三〇〇  
 印刷所 常警毎日新聞印刷株式会社

## 白虎隊と

なよ竹の碑 (2)

安倍 季雄

「なよ竹の碑」は高さ約四メートル弱、幅一メートル半、殉節婦人二百三十三人の英霊を祀るために會津の婦人達が中心となり零細の金をあつめて建設したもので題字は舊藩主の一族松平保男氏、碑前には別に家老西郷頼母の妻千重子の辭世の歌を刻んだ石碑が立つて居ります。

書は千重子の甥に當る飯沼貞吉の筆になり碑面の裏には殉節烈婦の氏名をズラリと列記してあります。殉節婦人達の中で最も壯烈を極めたのは千七百石の家老西郷頼母の一家であります。

頼母の妻千重子は當年三齒に温度 神經が缺けてゐるから冷熱共に熱い冷たいと感せず極端な冷熱は痛みとして感じられる

十四才、青龍一番寄合組、中隊頭、飯沼時衛の妹で非常な賢婦人でありました。夫の頼母が城を枕に討死を覚悟しその旨を千重子に申聞けますと、涙一滴こぼ

さす、「どうぞ立派に戦死遊ばせ、あとの事は決して御心配下さいませ」と、快よく良人を玄關に送出した上、翌廿三日敵軍が愈々城下に殺倒し入城を促すや早鐘が股々として鳴り轟くのを聞くと、早速一才の長男有隣を膝下に呼び寄せ野袴に陣羽織の鉢巻に草鞋穿き、腰には甲斐刀、しく兩刀をささせ

「お前も侍の子です、お國の大事をよそに見てはなりません、之から直ぐにお城に入つてお父様と御一緒に立派に戦死をするのです。小さくても男は男、未練なまねをするを御先祖様のお名折になりますよ。」と言ひ

「お母様、愈々最後の時が参りました。御心静かに御用意遊ばすやう、千重は子供達と一緒に御免を蒙ります。」と、顔色一つ變へず挨拶して自分の居間に立ち戻り、去年生れたばかりの赤ん坊の季子を膝の上に抱き

あけ良人の妹眉壽子(二六)由布子(二三)長女の細布子(二六)二女の瀑布子(一一)三女の田鶴子(九)四女常磐(四)を呼びあつめ遠からずお落城ときまつた事、女子供の籠城は却つて足手まじと書さしるしました。

足来す虞ある事、此の際オメ／＼と生きながらへて萬が一敵の爲に身を汚されるやうな事があつたら會津婦人終生の名折れであるばかりでなく、西郷家代々の御位牌に對し申譯ない事など、こま／＼と言ひきかせ

「時刻は迫つて居ます兼ねての申合せどほり、サア立派に覺悟をして下さい」と申渡しますと眉壽子、佃布子をはじめ誰一人異存を申

【朝】味噌汁―豆腐 小付 焼のり  
 【晝】とろ／＼汁 青のりか  
 【晚】煮込おでん 茶めし はかり漬

出る者もなくいづれも甲斐なく死装束をとりのへ作法通りに水盃をとりかはした後、千重子が先づ筆をと



株式賣買債權取立  
 合資 三 共 商 事  
 大町 電話三六〇番

レストラン  
**平 層 韻**  
 電話 624

御花見  
 の御催し  
 折詰、辨當の大  
 少に不拘御用命  
 の程を御待して  
 居ります



是非!

御融通には御用命下さい  
 萬事便利な御相談に應じます

三井質店  
 平四・電六〇六番

櫻花の季節になりました  
 お花見の折詰は!!!

是非 後宴の折詰  
 時節柄價格低廉  
 奉仕的勉強致します  
 平町一丁目  
**不 凍 實**  
 電話一四一番

吉田眼科病院  
 正樹屋町  
 醫學士 吉田久雄

齒科口腔外科  
 レントゲン科

平町土橋通り  
 電話三一三番

院長 東京齒科 原 精一  
 醫學士 東京齒科 柏倉武男

原齒科醫院

科 内

川井内科診療所  
 川 井 安 子

平南町(電話二四三)

# きのう絶好の春日に 輝く大表彰旗

## 盛會を極めた披露祝賀會

既報輝やく大表彰旗を授與された平消防組の表彰旗披露式は昨十四日午前九時より平第一小學校に於て島田警察部長、山崎保安課長、大日本消防協會代表、縣消防協會理事以下郡下全町村長消防組頭その他地方官民有志約五百名の來賓を迎へて盛大に舉行された、この日絶好の晴天に惠まれ先校庭に於て國旗掲揚を行ひ午前九時講堂式場に着席、酒井助役の開辭に次いで殉職物故組員二十四名の慰靈祭を執行、更に消防四十年勤續の小頭高根澤長太郎氏以下十一名の永年勤續功勞者表彰式、井上組頭受賞者を代表して答辭、尙表彰旗披露式に入り青沼町長の式辭、大日本消防協會長代理外七氏の祝詞、伊藤縣知事外四氏よりの祝電朗讀、關内副組頭の閉會の辭によつて式を終り、同校庭にて組員の規律訓練機械操練があつたがその一糸亂れぬ整備さは道が天下の平消防組たるを思はしむるに充分であつた、午後一時松ヶ岡公園の園遊會場へ移り櫻花爛漫の下新田町選抜きの美技連の「躍進日本」その他一連

## きのう平町で 縣土木業大會

### 決議數項・役員選舉

既報縣下土木建築請負組合總會は昨十四日午前十時から平署會議室で開催縣土木課より遠藤技手が出席せる外平、富岡、原町三土木監督所長及び縣下の組合員二百四十名出席決算報告、役員改選、豫算承認の后左記協議案を萬場一致で可決し

一、縣直營工事匡救事業等の撤廢請願 一、鐵線蠅等縣支給品撤廢 一、請負業者が縣工事を請負つた際砂利玉石等の河川

既報縣下土木建築請負組合總會は昨十四日午前十時から平署會議室で開催縣土木課より遠藤技手が出席せる外平、富岡、原町三土木監督所長及び縣下の組合員二百四十名出席決算報告、役員改選、豫算承認の后左記協議案を萬場一致で可決し

(會長) 福島田中柳太郎 (副會長) 喜多方山口平一 (幹事長) 平佐々木健一郎 (會計) 福島笹川庄作 (會計) 福島笹川庄作の諸氏と縣下各支部長幹事は重任と決定

## けふから三校へ 常置看護婦

### 學校家庭へ福音

既報平町三小學校へ今十五日から常置された學校看護婦は昭和四年十月の文部省訓令に基いたもので各先進小學校では右の實施によりトラホーム療其他學校衛

生に關し相當の實績をあげつゝあり今回平町各校へ設置されたことは一大福音で看護婦の執務状況左の如く

手洗消毒 朝の點検 トラホームの手術助手 歯牙診療の準備及び助手 救急手當及び一般看護 校舎内外の巡視併びに衛生訓練 家庭訪問 遠足、修學旅行運動會其の他の附添看護 肝油及び海人草服用の準備 凍傷濕疹等の治療 衛生日誌トラホーム治療票等の諸帳整理其他學校衛生諸般

## 配置看護婦

左記三名に決定

別稿學校看護婦三校への配置は左の通りである

第一校 佐藤モイ 第二校 安藤陸子 第三校 國玉富美子

## 平三校協議

在記事項を打合

平町三小學校打合せ會は今十五日午前十時より第一校に於て左記事項に付協議した

來月分學校行事 兒童修學旅行に關する件 教育關係懇親會 小學校教員修養會 學校看護婦の件

## 産馬功勞者

組合から表彰

石城産馬組合では郡南錦方部第一區の總代として多年貢獻する處あつた田人村の小宅幸之助氏に對し此の程

感謝狀に火鉢一ヶを添へた記念品を贈つた

## 北海道巡查

の採用試験 北海道の採用試験は本十五日午前九時から平署會議室で行はれ同應より齊藤警部補が試験官として出張したが受験者は十二名であつた

## 矢吹書記赴任

福島地方才判所へ榮轉した平區才判所矢吹書記は今十五日午前八時卅分半驛發赴任したが後任田仲書記は今十五日午後二時十分着にて來平した

## 平法曹團の 觀櫻會

平町法曹團觀櫻會は来る十七日午後三時より松ヶ岡公園に於て開催されるが參會者約六十名盛會を豫想されてる

## 平町人事

△結婚 烟

△東京市瀧野川區西ヶ原町七二正内田義治(二六)氏南町五一佐藤ハル子(二三)

□死 亡

△杉平一七 宮澤好吉(七六)さん

發賣開始!!!

サクラ・平のサクラ音頭  
素晴らしい春の序曲  
コロムビアレコード

平よいとこ  
磐城甚句

まづ御試聴下さい  
御買求めは是非弊店へ  
……各社レコード新譜續々入荷……

金光堂時計店  
平・五 電一九五

平屋洋品店

平町田町通電話六五六番

謹告

來十八日縣社子鉾倉神社大祭當日は例年通り謹而休業仕り候  
但日本銀行並に縣金庫事務は平常通り取扱申候

平町銀行組合

おひよとよしののちんやん

38]

マクカラ  
ハナモイ  
サケハオ茶  
クゴカニテ  
アライ

マクカラ  
ハナモイ  
サケハオ茶  
クゴカニテ  
アライ

マクカラ  
ハナモイ  
サケハオ茶  
クゴカニテ  
アライ

印刷の御用は  
設備完全  
「常磐毎日」へ  
電話六三〇

# 人に埋まつた花の山

## 好晴のさのう人出數萬

昨十四日の日曜は絶好の快晴に恵まれ松ヶ岡公園は文字通り天下御免の一大歡樂境を現出した。陽春の波にのつて櫻は既に八分通り咲き吾が世の春を謳歌するグルーブの氣焔、さては長驅遠征してきた団体客の底抜け騒ぎ等々全山のお花見氣分は最高潮に達しときわ亭前の消防團遊會場の周圍に

# 平日の三倍強

## さのう雑踏の平驛

昨十四日絶好の花見日和に恵れた平驛の乗降客は當日乗車三千六十四名、降着二千九百五十三名、平常の三倍に近い乗客が殺倒したが同驛では来る廿一日の第三日曜が櫻の満開と見、當日は松ヶ岡公園地内常磐線に假ホームを設け左記の如く普通列車二本臨時列車一本のてい車を行ふ外湯本、四倉で臨時列車を増發する事になつた

(松ヶ岡ホーム停車列車)  
下り  
平着 午前九、三四分着  
同 一一、〇一分  
同 一〇、二六分  
(臨時列車)  
湯本着

# 松ヶ岡最初の賑ひ

は新田町美妓の手踊に集つた人。人は全く立雄の餘地なきまでそれにこの日は縣下土木請負業大會と折柄の博覽會をあてこむ人出は數萬に及び今年最初の賑ひを呈したが十七、八の兩日は縣社子歛會神社の大祭があり天候にさい恵まれれば茲數日間の平町は行き合ふ人出に賑ふ事であらう

# 全債務を決済し

## 更生小田炭礦

### 貸金十六萬を棒引いた

#### 小田吉次氏の仁俠

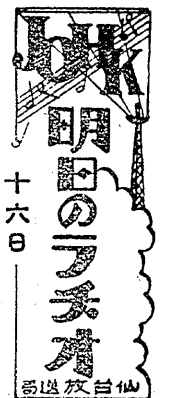
好間村小田炭礦會社は現在月産二十萬噸の採掘能力を有する郡下三大炭礦に次ぐ活況を示して居るが同社は正十二、三年當時炭礦界不況時代に時の社長小田吉次氏より十六萬圓の借入を行つて苦境を脱したが其後引續いた不況の爲め利子の支拂ひにも窮し二、三年前より押し寄せた黒ダイヤ好況下にすら株主配當が出来ぬ状態にあるので現社長萩原申八氏は同社の根本的建直しに踏み出し小田氏と種々折衝の結果去る十日小田氏は發展途上にある同社の爲め十六萬圓の貸金を三萬五千圓に切り捨てを承諾之れを支拂つて一切の解決を見たが小田氏の大度量が發見されるや同社不況時代の債權者連も自發的にその債權七萬圓を半額に譲歩する旨を申合せる等同社の前途に一大活路を開かれるに至り今期八分前後の株主配當

# 走る自動車へ

## 飛乗りの早業

### おてんば酌婦の痛事

上小川村字上小川料理店若島屋方酌婦宮本ハツ(三)は去る十三日午後五時頃所用で小野新町に行く途中同村地内縣道を平町方面から疾走して来た小野新町字中町永山自動車店方運轉手遠藤登(三)のトラックを呼び止



今晩も明日も北東の風曇模様

# 今晩の部

後六、〇〇 子供の時間  
童謡と唱歌 福島縣本宮二本松第 兩小學校兒童  
後六、二五 基礎英語講座  
岡倉由三郎  
後七、二〇 第六潜水艇遭難記念講演 吳海軍潜水學校々長公室中繼  
後八、〇〇 滿洲國帝陛下奉迎近畿特輯の夕 京都大阪  
後九、三〇 時報ニュース  
氣象通報 番組預告  
明日の部  
前六、三〇 基礎獨語講座(四) 武内大造  
前七、〇〇 一朝の修養「幼

# 凶作義金で

## 精米所建設

既報過般三井、三菱義損金を割當てられた郡下各町村では目下共同作業所の設置を急いで居るが其の中で江名信用組合は工費六百六十

# 縣稅の滞納額

## 五萬圓突破

### 徹底的整理斷行

平縣稅務出張所は九年度後期分營業雜種稅家戶稅所得附加稅等の滞納が五萬五千圓に及んで居るので去る十日より月未迄の豫定で全吏員は四倉外一町七ヶ村の滞納整理に大童への活動を開始したが更に來月十日頃最後の公賣處分を行つて徹底的整理を斷行すると

學綱要(五) 文學博士 深作安文  
前二、〇〇 幼兒の時間「童話」はな、はな、はな  
久留島武彦  
前二、三〇 婦人講座「春から夏への洋縫」七筒井光康  
後二、〇〇 五ツアイオリンとピアノ獨奏 松田三郎  
後二、〇〇 小學生の時間 尋三唱歌 大和田愛羅  
後二、四〇 小學生の時間 (高一) 國語 井上赴  
後六、〇〇 子供の時間 (名作もの語) 東京放送

# 平理髮總會

廿日役員選舉  
平署管内理髮業組合は来る廿日午前十時から同署會議室に總會を開き組員の改選を行ふ

# 町村長總會

廿日左記協議  
石城町村長支會ひは来る廿日午前十時から平町會議事堂に於いて總會を開き諸案を協議すると

# 山林内で

## 大賭博

一網平署に逮捕  
内郷村大字綴字堀坂地内山林で昨十三日正午頃女を加へた五名の者が一團となつて十丹賭博を開帳して居るのを駐在所員が発見平署員の應援で山を包圍して全部

平職業紹介所報告  
回人を求める方  
△新開配達 十五、十六才  
△女中 市内居住者  
△女中 四十以下 尋卒  
△小四圓 十六才 高卒  
△小五圓 十六才 高卒  
△時計工 十八才 高卒  
△料理人 二十七才 高卒  
△小商店員 十七才 高卒  
△農夫 三十才 中二修





# 明治太平記

(上巻及上巻)

(作) 寺島樞史

(監) 野口

第一〇〇回

## 間牒往來 (5)

畑は、船頭の手首をどらうとした途、今迄野野呂を装ふてをつた若い船頭は急に態度をあらため畑をつきのけるやうにして、其儘どんぶり大川へ身を躍らした。

「あつ—」

畑は後を追ふて船べりへ片手を掛た

「犬だ、大久保の犬だ」

屋形の中で丸山は低くけれども力のこもつた聲でいつた

「まア、あの船頭が……」

およしはおろ／＼とこゑでいつた

「丸山さん暫く……」

畑は羽織をぬいだ

「待て。君！」

引止めるまへに畑はついでに暗い水中へ身を躍らしてゐた

「よせ、よせといふに」

丸山は川面を覗いたがもうその姿は見えなかつた

「旦那様どうしませう」

およしで水中へ飛びこまうとするのか、女伊達らに船べりへ片足を掛た

「いや、大久保のやりなことだよ、おぬしの船宿

およしは屋形の中へもどつた

「およし、雲井をうばひとつてやらうか」

「は……」

「二十八日だな傳馬町の處刑は」

「は、はい……でも其爲にあなた……」

「おれが捕縛されると案じてくれるか、大丈夫俺の背後には國民多數がついてゐる、雲井が救はれておれが代りに捕縛されても、みなは決して其儘にしては置ぬよ」

「でも旦那様、あの方はも

「申譯ございません、大事

に、憂國の志士が去來する

とみて犬を放つておいたの

さ、嗚の船頭は實は一倒の

たつ者なやつだつたらうハ

丸山盃を持つたまへ朗に

笑つた

「申譯ございません、大事

に、憂國の志士が去來する

とみて犬を放つておいたの

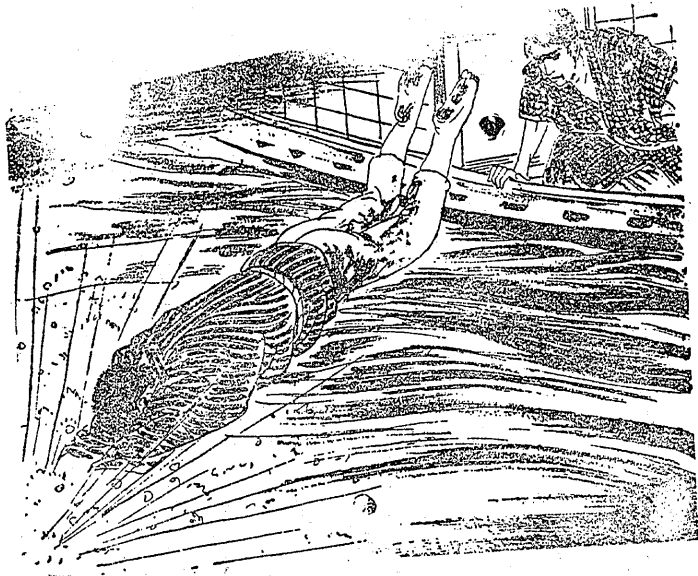
さ、嗚の船頭は實は一倒の

たつ者なやつだつたらうハ

丸山盃を持つたまへ朗に

笑つた

「申譯ございません、大事



「どうした？」

「お處刑にあふ方がよいかもしれないませぬ」

およしは、鼻をつまらせた、もうそれ以上いふところへてゐる涙が双眼から溢れでるだらう

「どうしてだ」

「はい」

「あの方の、お胸のやまひがもういけなないのですの」

およしは其儘つぶしてしまつた。撫肩を小さきふるはしてしのひ泣いた

「さうか、固疾の肺患がそれほど重うなつてゐるのか再起がおほつかないといふのか」

「は、はい……いつぞやお目にかつた時あの方はもう……」

「さうか」

丸山は暗い氣持になつてそれなり唇をむすんでしまつた

さむ／＼と川面のこぼるほどな宵どこかにわびしく千鳥が鳴いてゐる。船べりをたたく小波にも涙ぐまれるのだつた。

常世はもどつて來ない

## 藤沼醫院

平町・紺屋町  
電話五〇七番

## 春の中折帽子とネクタイ賣出し

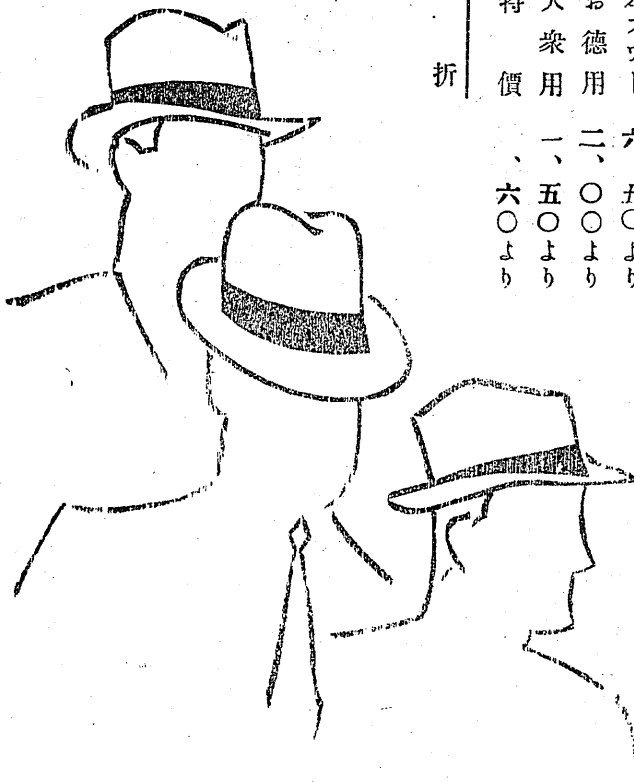
35年代用の流行品が豊富に取揃へました

◎春バラソル日傘十五日より陳列

本網最上 一、五〇より  
本網上 一、〇〇均一  
人絹上 四五均一  
昨春殘品只今のサーピス  
定價の半額品陳列

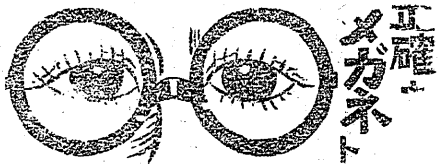
ネクタイ

本フワー 六、五〇より  
お徳用 二、〇〇より  
大衆用 一、五〇より  
特價 六〇より



## 大黒屋

平町三丁目



### 視力検査

正確なメガネ  
本根眼鏡  
計鏡部  
平町二丁目  
電話六〇七番

### 特價販賣

正確な

眼鏡は……當店へ

景品付新發賣開始

パイロット高級萬年筆

即時御名入彫刻無料

### 新學期 通學服賣出

男兒用

紺サージ金釦服…3.60

黒小倉服…1.60

女兒用

紺セルセラ服…2.60

特製黒小倉服…3.60

お嬢ちゃんお坊ちゃん  
方の可愛らしい通學服  
を豊富に取揃へ特賣提  
供

ふかや洋服店 平三 電話 233